

コード	301020101
記入日	H22.6.15

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永重利
担当者	釜崎儀弘

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	保健センター管理事業費
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30102	基本事業名称	活動基盤の整備	目コード	1
事務事業コード	3010201	事務事業名称	保健センター管理事業費	細目コード	302
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町立保健センター条例及び施行規則・新上五島町地域子育て支援事業実施要綱		

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	保健センター	(対象指標1)	2箇所			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	施設が支障なく利用できるよう、保守点検を年2回実施した。 ・事業内訳 需用費 961千円 役務費 382千円 委託料 125千円 使用料及び賃借料 53千円 公課費 9千円	*****	*****	*****	保守点検回数2回÷予定回数2回	*****
①		保守点検回数	2回	100%		平成21年度
		(達成率分析)	予定どおり保守点検を実施した。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		②				
		(達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
保健センターとしては、町民の健康相談・健康教育及び診査を行い、健康保持・増進を図る。又、併設する子育て支援センターとしては、子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークルの育成等、地域の保育事業に応じた支援事業を実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う活動拠点の場として実施。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	利用可能日数243日÷利用予定日数243日	*****
		①	利用可能日数	243日	100%	
		(達成率分析)	予定どおり年間を通して利用できた。			
		*****	*****	*****	利用者数4,422人÷利用予定者数7,000人	*****
		②	利用者数	4,422人	63.2%	平成21年度
		(達成率分析)	健康増進事業をはじめ、子育て支援事業、その他各種事業等で数多く利用されている。			

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	8	8	6	2	2					
	②										
成果指標	① 日	1,207	1,207	964	243	243					
	② 人	28,237		19,761	7,000						
総事業費C (A+B)	千円	16,767	16,545	12,915	3,852	3,630					
直接事業費 A	千円	8,367	8,145	6,615	1,752	1,530					
人件費 B	千円	8,400	8,400	6,300	2,100	2,100					
内訳	従事職員数	人	1.2	1.2	0.9	0.3	0.3				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	16,767	16,545	12,915	3,852	3,630					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	健康づくりの推進及び子育て支援の実施は、欠くことのできない事業であるとする。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	健康づくりの推進及び子育て支援の実施は、最も重要な課題の一つであるとする。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	条例及び要綱に基づく事業を実施する活動拠点の場であり、適正であるとする。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	施設が老朽化してきており、維持管理に費用がかかっている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	大規模改修となる前に予防的な修繕を行うことにより、成果を上げることは可能とする。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	行政サービス(子育て支援)の拠点がなくなる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の利用状況を考慮して活動拠点の確保は、必要であるとする。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	毎年、見直しを行っているため、これ以上の削減は難しい。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	今の人員を減らすことは、現在実施している事業ができなくなるため、難しい。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	条例を制定して実施しており、適正であるとする。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	健康づくりの推進及び活動拠点を確保する上で、必要な施設であるとする。
		有効性	施設が老朽化してきているため、修繕箇所が多くなっている。成果を向上させるためのにも予防的な修繕は必要であり、乳幼児を含めた子ども達が利用する施設であり、根本的な修理が必要である。
		効率性	これ以上の削減は、施設を維持する上で難しい。
	課題に向けた改善策	特になし	
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
有効性		保健センターの地域の健康教育、健康相談の窓口としての機能を維持していくために、維持・管理は適正に行い、利用に支障がないよう管理運営を行うこと。	
効率性		必要な改修は計画的に行うこと。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
			事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。